

令和6年6月25日

報道機関各位

石山南遺跡・石山南古墳群の現地説明会について

教育部文化財保護課

石山南遺跡・石山南古墳群の発掘調査は、民間開発に伴う調査です。令和6年5月から調査を進めてきましたが、調査の結果、市内で初めての埴輪窯が発見されました。県内でも埴輪窯の調査例は数例しかなく、非常に貴重な発見です。その他にも埴輪生産に関わる粘土を採取した土坑や工房なども見つかり、埴輪生産に関わる遺構がこれほどコンパクトに見つかったのは全国的にみてもほとんど例がありません。また、古墳（赤堀村 107 号墳）も確認されており、埴輪や石製模造品などが出土しています。周辺で調査された赤堀村 104 号墳から出土した埴輪は東京国立博物館所蔵のものと接合関係にあることがわかり、107 号墳出土の埴輪もその可能性があります。

これらの成果を広く市民に公開するため、現地説明会を開催します。

- 1 日 時** 令和6年6月30日（日）午前10時～午後3時 小雨決行
説明は午前10時、11時、午後1時、2時の4回実施します。
- 2 場 所** 石山南遺跡・石山南古墳群発掘調査現場
（下触町56）
- 3 駐 車 場** 発掘調査現場駐車場など
※満車の場合は史跡女堀赤堀花しょうぶ園の駐車場から徒歩

問い合わせ先 文化財保護課 横澤 Tel 0270-75-6672





工房跡



埴輪窯跡



埴輪窯跡



赤堀村 107 号墳出土埴輪（鹿か？）

位置図

